

平成30年度 名古屋大学大学院

多元数理科学研究科博士後期課程

学生募集要項（10月入学）

アドミッション・ポリシー

多元数理科学研究科は、多様な問題意識や幅広い視野をもって数理科学の新たな可能性に挑戦しようとする意欲ある人を国内外に求めます。

1 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を授与された者及び平成30年9月末日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記資格（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び平成30年9月末日までに認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (8) 本研究科において、個別審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年9月末日で24歳以上の者

出願資格（7）及び（8）により出願する者に対しては、事前審査を行う。該当者は平成30年6月7日（木）（必着）までに、①氏名 ②住所、電話番号、電子メールアドレス（メールアドレスを持っている場合）③履歴（高校卒業後、現在まで）を記載した書類（書式は自由）を提出すること。その際、封筒の表に「事前審査書類請求」と朱書し、速達の返信用封筒（角形2号—約3.3cm×2.4cm、420円分の切手を貼付し、宛先を明記したもの）を同封すること。

2 募集人員

専攻名	募集人員
多元数理科学	15名

3 願書受付期間

平成30年6月15日（金）～平成30年6月21日（木）（但し、土・日・祝日を除く）

受付時間 10時～12時、13時～16時

（郵送による場合も、6月21日（木）16時までには到着したものに限り受け付ける。）

4 出願書類等

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 入学志願票, 写真票,
受験票及び履歴書 | (本研究科所定の用紙) |
| (2) 写 真 | (出願前3ヵ月以内に撮影のものを本研究科所定の写真票に貼ること。) |
| (3) 成績証明書 | (本研究科修了(見込)者は不要) |
| (4) 修士学位取得(見込)証明書 | (本研究科修了(見込)者は不要) |
| (5) 研究計画書 | (本研究科所定の書式。本研究科のウェブページからダウンロード可) |
| (6) 修士学位論文又は
それに準ずるもの | ※注 修士論文提出期限前の場合には、提出見込のもので可。 |
| (7) あて先明記の封筒 | (受験票送付用1枚、長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に82円切手を貼り、自己の住所氏名を明記のこと。) |
| (8) 連絡用シール | (「合格通知書」「入学手続書類」等送付用。出願後に住所変更があった場合は、速やかに教務学生係へ連絡すること。) |
| (9) 領収証書・領収証書(控) | (氏名欄2ヵ所に氏名を記入すること。) |
| (10) 入学検定料 | 30,000円の郵便普通為替(注意事項(2)参照) |
| (11) 国費外国人留学生証明書 | 現在、国費外国人留学生である者はその証明書(ただし、本学在学中の者は不要) |

5 出願手続

出願者は、前項(1)～(11)の書類等を(本学大学院前期課程修了見込みの者は入学検定料は必要なし。)本研究科教務学生係に提出すること。

出願書類の完備しない願書は受理しない。

◎ 注 意 事 項

- (1) 出願書類を郵送する場合は、本要項巻末の「出願用宛名用紙」を角形2号の封筒に貼りつけて締切日時までに必着するよう送付すること。
- (2) 検定料は、郵便普通為替30,000円とし、為替には何も記入しないこと。
- (3) 出願後は、記載事項の変更及び検定料の払戻しはしない。
- (4) 受験票の発送には諸事情により期間を要する場合がありますので、発送についての照会は、試験実施日の5日前まで行わないこと。
- (5) 障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、平成30年6月11日(月)までに、以下3点を添えて、その旨を教務学生係へ申し出てください。
 - (a) 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意、A4サイズ)
 - (b) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写しでもよい)。
 - (c) 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)。
 - (d) 適宜それ以外の書類を添付しても構わない。
 なお、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までにお問い合わせください。

6 選 抜 方 法

◎集合時間及び場所案内等は、受験票と共に送付する。

試 験 期 日	試 験 科 目	備 考
平成30年7月7日(土)	口 述 試 験	希望により英語で実施

7 合 格 者 発 表

平成30年7月10日（火）午前

多元数理科学棟玄関前に掲示する。

なお、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を7月下旬に送付する。

官公署その他民間会社等に在籍のまま入学を希望する者は、入学手続き時に承諾書を提出すること。

8 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円

（平成30年9月中に大学が指定する入学手続き期間内に納めること。）

授 業 料 後期分 267,900円（年額535,800円）

（注）1. 授業料は、前期及び後期の2期に分けて、前期にあつては4月、後期にあつては10月に納入する。

2. 入・進学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改正時から新たな納付金額が適用される。

9 そ の 他

- （1）本研究科の募集要項（本冊子）を郵送で請求するときは、あて名及び郵便番号を明記した返信用封筒（角形2号、約33cm×約24cm）に250円分の切手を貼り、それを同封して申し込むこと。その際、差出封筒の表面に「**多元数理科学研究科後期課程（10月入学）願書請求**」と朱書すること。
- （2）出願にあたって提供された氏名・生年月日・住所その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用する。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

平成30年5月

名古屋市千種区不老町（郵便番号 464-8602）
名古屋大学大学院多元数理科学研究科
教務学生係

電 話 052-789-5756

Web ページ <http://www.math.nagoya-u.ac.jp/>



地下鉄名城線「名古屋大学」駅
下車（2番出口へ）

自然災害対応等 緊急の連絡について

自然災害等により、試験日程の変更等が生じた場合は、下記の多元数理科学研究科ホームページでお知らせしますので、出願前や受験前に必ず確認してください。

◎多元数理科学研究科ホームページ <http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/>

◎連絡窓口 名古屋大学大学院多元数理科学研究科 教務学生係 052-789-5756

名古屋大学大学院 多元数理科学研究科 研究分野表

研究分野	教員名			
	教授	准教授	講師	助教
組合せ論	岡田聡一			
解析的整数論	松本耕二	古庄英和		
代数的整数論	藤原一宏	鈴木浩志 古庄英和		大久保俊
数論幾何	藤原一宏	古庄英和		大久保俊
代数幾何	小林亮一 金銅誠之 藤原一宏 石井 亮	伊藤由佳理 齊藤 博* 柳田伸太郎		伊藤 敦
代数解析学				岩木耕平
可換環論		高橋 亮		
環論	伊山 修			
表現論	伊山 修 宇澤 達 岡田聡一 中西知樹	伊師英之 林 孝宏 高橋 亮 柳田伸太郎		
位相幾何学	太田啓史 森吉仁志	川村友美		
代数的位相幾何学	Lars Hesselholt			
ホモトピー論	Lars Hesselholt			
微分幾何	太田啓史 小林亮一 納谷 信 森吉仁志	伊師英之 糸 健太郎 内藤久資 松尾信一郎		佐藤 猛
双曲幾何		糸 健太郎		
複素幾何		伊師英之 松尾信一郎		久本智之
グラフ理論		藤江双葉		
複素解析				
力学系		松尾信一郎		鈴木悠平
大域解析学	森吉仁志	松尾信一郎		
関数解析	山上 滋			鈴木悠平
作用素環論	植田好道			鈴木悠平
フーリエ解析	杉本 充	加藤 淳 寺澤祐高		
偏微分方程式	杉本 充 菱田俊明	加藤 淳 寺澤祐高 内藤久資		笹原康浩
微分方程式論				岩木耕平
確率論	吉田伸生	久保 仁 中島 誠		
無限可積分系	中西知樹	粟田英資 林 孝宏 柳田伸太郎		岩木耕平
数理物理	菅野浩明 木村芳文 白水徹也 永尾太郎 中西知樹 大平 徹	南 和彦	浜中真志	泉 圭介
数理生物				
素粒子論			浜中真志	
一般相対性理論	白水徹也			泉 圭介
宇宙論	白水徹也			泉 圭介
統計力学	永尾太郎 吉田伸生	南 和彦		
物性理論	永尾太郎	南 和彦		
流体力学	木村芳文 菱田俊明	寺澤祐高		
数値解析	木村芳文			
情報理論	林 正人	久保 仁		
量子情報理論	林 正人			
量子暗号	林 正人			
理論計算機科学		Jacques Garrigue		
Programming言語理論		Jacques Garrigue		
型理論		Jacques Garrigue		

*平成31年3月31日定年退職

研究計画書作成上の注意

ワープロ、t e x等を使って作成することが望ましい。様式は同様の形式であれば、必ずしもウェブ・ページからダウンロードしたものと同一である必要はない。

- (1) 修士論文の内容要約：修士論文（提出予定を含む）の内容を1500字以内又は、英文750語以内に要約すること。冒頭に、サーベイ論文であるか、オリジナルな結果を含む論文であることを明記すること。サーベイ論文である場合には、テーマや目的を明確に説明し、論文全体の流れを書くこと。また、独自の視点や自分で計算した具体例などがあれば、それを明記すること。オリジナルな結果を含む場合は、その結果を明確に述べ、問題の背景や証明のアイデアを説明すること。
- (2) 研究目的：修士論文の内容をふまえて、後期課程進学後の研究目的を600字以内又は、英文300語以内に要約すること。研究課題（解決しようとする問題）を出来るだけ具体的に述べるとともに、可能ならば関連する分野の国内外での研究状況を含めることが望ましい。
- (3) 研究計画：問題解決へ向けた計画（セミナーや勉強会の企画を含む）を多元数理科学研究科スタッフ（研究員や大学院生を含む）との関係や研究科外の研究者との連携を含めて400字以内又は、英文200語以内に要約すること。

研究計画書

志願者氏名 _____

(1) 修士論文の内容要約（1500字以内又は、英文750語以内）

研究計画書

志願者氏名_____

(1) 修士論文の内容要約 (続き)

研究計画書

志願者氏名 _____

(2) 研究目的 (600字以内又は、英文300語以内)

(3) 研究計画 (400字以内又は、英文200語以内)